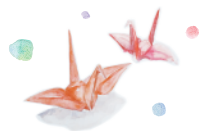


これぞ日本人の精神『熱殺蜂球』

ねっさつほうきゅう

先日カレントの『極め人に聴く』にて、第95代内閣総理大臣 野田佳彦先生のお話を伺う機会をいただきました。素晴らしいお話の数々の中で、一番印象に残ったのが『熱殺蜂球』のお話でした。野田先生に天皇陛下から学んだお話の一つとして教えていただきました。私は聞いた瞬間に「まさに日本人の精神だ」と心から感動し、今期のキャリアコンサルティングのテーマにさせていただきました。



総

理大臣になると定期的に、皇居の宮殿にて「上奏」という天皇陛下に対して報告をする機会があります。上奏を振り返り野田先生は、報告をする立場ながら、むしろ天皇陛下（現上皇陛下）から様々なお話をしていただき、勉強になることの方が多とおっしゃっていました。

皇居の中には蜂の巣がたくさんあり、撤去するかどうかというお話の中で、陛下からニホンミツバチの熱殺蜂球についてお話いただき、大変勉強になったそうです。

熱殺蜂球とは、蜂の中で最強と言われるスズメバチに対するニホンミツバチの対抗手段です。スズメバチがニホンミツバチの巣を襲う際に、まず1匹が偵察に現れるそうです。このスズメバチを仲間のあるところに帰してしまうと、ニホンミツバチの巣はすぐに大群で襲われて制圧されてしまいます。ニホンミツバチにとっては偵察の1匹を倒せるかどうかで、組織の存亡が決まるという事です。3倍以上の体格差があるスズメバチに1対1では到底敵いません。しかし、ニホンミツバチはある方法を使ってス

ズメバチを撃退することができます。

スズメバチの致死温度は45℃で、それ以上になると死んでしまいます。一方、ニホンミツバチは50℃までは耐えることができます。この5℃の差を使ってニホンミツバチはスズメバチと戦います。スズメバチが巣に近づいてくると、ベテランの蜂からどんどん向かっていきます。その際、十数匹はスズメバチの強力な顎で噛み殺されてしまうそうです。

それでもひるまず、最終的には約400匹でスズメバチを囲みます。そして、胸の筋肉を震わせることで、スズメバチの致死温度を超える47〜48℃まで温度を上げていきます。ニホンミツバチは50℃まで耐えることができるので、最初に噛み殺されてしまった十数匹以外は生き延びることができます。

これを熱殺蜂球と呼び、世界で唯一スズメバチに勝てる手段だそうです。熱殺蜂球をするのはニホンミツバチだけで、セイヨウミツバチなどのミツバチには見られない行動だそうです。

今

期のキャリアコンサルティングのテーマを「熱殺蜂球」にしました。スズメバチを、乗り越えるべき強力な課題やトラブル、もしくは目指すべき大きな目標に見立てました。課題に対して、一人で解決しようとするのではなく、ベテランから率先して行動し、全員で知恵と情熱を出して組織のエネルギーを上げて、社員一丸で課題解決や目標達成をしてほしいという、私の願いにぴたり当てはまる言葉が熱殺蜂球でした。

一人で考えると困難に思えることでも、仲間のおかげで解決の糸口が見えることがあります。仲間を集められるかは、リーダーとして「絶対に見える」という意志と率先して課題に向かっていく姿勢で決まると思います。皆さんも熱殺蜂球の気持ちで、大きな目標を成し遂げる1年にしていただきたいと思えます。

ちなみに、熱殺蜂球の様子は動画で見られますので、興味がある方はネットで調べてみてください。ただし、かなりグロテスクなので苦手な人はご注意ください(笑)。

(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室舘 勲
MURODATE Isao

2003年株式会社キャリアコンサルティングを設立。ブータン王国立マネジメント大学など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。ミス・ワールド・ジャパン講師・審査員。著書に「夢を見て 夢を叶えて 夢になる」(致知出版社)、「まずは上司を勝たせなさい」(講談社)、「応援される人」になりなさい」(ワック)がある。